

Title	表紙・目次ほか
Author(s)	
Citation	京都帝國大學演習林報告 (1933), 5
Issue Date	1933-03-31
URL	http://hdl.handle.net/2433/190446
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

京都帝國大學
演習林報告第五號

樺太演習林所產植物

花粉並二胞子形態

京都帝國大學助手
農學士 山崎 次男

京都帝國大學農學部附屬演習林

昭和八年三月

樺太演習林所產植物

花粉並二胞子形態

京都帝國大學助手

農學士 山崎次男

京都帝國大學農學部附屬演習林

昭和八年三月

本編ハ本學助手農學士山崎次男ガ京都帝國大學農學部附屬樺太演習林所產植物ノ花粉並ニ孢子ノ大サヲ測定シ形態ヲ圖示シタルモノニシテ、此レニヨリ花粉分析法ニヨル濕野ノ研究及ビ延テハ森林ノ過去ノ變遷ノ研究ニ資セントスルモノナリ。所載植物 172 種ニシテ未ダ全部ヲ盡シタリト謂フベカラザルモ殆ド大部ニ互リタルモノト信ジ、未採集ノモノニ關シテハ後日測定圖示シテ此レガ補遺ヲナスコトトシテ茲ニ印刷ニ附スルコトトセリ。

森林ガソノ構成樹種ニ關シ今日ノ狀態ニ達スルノニ如何ナル推移ヲナシタカト云フコトハ今日ノ森林ガ將來如何ニ推移スルカトイフコトノ參考ニモ資スルコトニナル。茲ニ von Post 氏以來濕野ノ研究ニ用キラレタ花粉分析法 (Pollenanalyse) ハ林學研究ノ方面ニモ光明ヲ與フルコトニナツタノデアアル。本學樺太演習林内ニハ相當廣大ナル地積ノ高層濕野ヲ有シ、此ノ濕野ニハ水蘚發達以來、附近森林ノ歴史ヲ物語ル多數ノ林木花粉ヲ生ケルガ如クニ藏シテ居ル。吾人ノ目的ニ對シテ最モ緊要デアアルノハ近キ過去ヨリ現在ニ互リテ森林ノ構成員子タル樹種ガ如何ニ變遷シタカ、ぐいまつノ盛衰ハ如何ニ、えぞまつととどまつノ比ハ如何ニ、今日えぞまつととどまつトハ邦領樺太ノ南部ト北部トニテソノ混淆ノ比ヲ異ニシテキル、南ニテハとどまつノ割合ガ多ク、北ニテハえぞまつノ比ガ大デアアル。然シソレハ近キ過去ニ於テハ果シテ現在見ル如キモノデアツタラウカ、茲ニ花粉分析コソハ此ノ扉ヲ開ク鍵トナリ、過去ト現在トヲ結付クル線ニヨリテ將來ノ指針ヲ與フベキ參考トモナリ得ベキデアアル、然シ花粉分析ヲ行フニ當リテ種々ノ困難ガアルガ先ヅ第一ニ逢着スル問題ハ濕野水蘚中ヨリ現ハルル無數ノ植物花粉又ハ孢子ノ屬種名ノ檢定デアアル。

此ニ關シテ參考ニ資スベキ文献ヲ我ニ缺ク今日ニ於テ、目的ヲ達成スルタメニハ現存植物ノ花粉又ハ孢子ノ形態ヲ圖示、測定ノ必要ニ逼ラレ、茲ニ樺太ニ於ケル森林更新問題ニ關シ花粉分析法ニヨリ過去森林變遷ヲ研メントスル一助トシ、先ヅ樺太演習林所產植物172種ノ花粉及孢子ノ形態ヲ圖示シ、又大サヲ測定シタノデアアル。採集セル花粉及孢子ハ所產植物全部デハナイガ重要ナルモノノ大部ヲ録シタルモノト信ズ。未採集ノモノニ關シテハ近ク此レガ補遺ヲナシ、且ツ其ノ期ニ於テ花粉及孢子ノ形態ニヨル種名檢索表ヲ附スベキ考デアアル。

樺太演習林所產植物

花粉並 = 孢子形態

目 次

花粉並 = 孢子採集植物目錄	1
花粉並 = 孢子測定表	23
和 名 索 引	26
圖 版	1—59

演習林又ハ原圖者ノ
許可ナクシテ轉載復
製等ヲ禁ズ

昭和八年三月二十五日印刷
昭和八年三月三十一日發行

京都帝國大學農學部附屬演習林

京都市北小路通新町西入

印刷者 須磨勘兵衛

京都市西洞院七條南入

印刷所 内外出版印刷株式會社

